

新曲で行方市をPR

なめがた大使 奈良崎正明さん

なめがた大使で歌手の奈良崎正明さんが、4月26日（金）、麻生庁舎に伊藤市長を訪ね、新曲「赤い夕陽の帆引き船」をPRしました。

今回のテーマは、郷土の風物詩帆引き船と霞ヶ浦の景観を歌ったものです。デビュー35周年の記念の歌は郷土の帆引き船と決めていたそうで、ふるさとの情景と霞ヶ浦四十八津と北浦四十四津の海夫たちの伝統を引き継ぐ漁師たちの情熱を歌い上げています。



閉校を記念してみかんの苗木を植樹

玉川小学校全校児童

4月18日（木）、来年3月に閉校を迎える玉川小学校の全校児童98名が、学校近くの遊休農地にみかんやグレープフルーツ、レモンなどの苗木約100本を植えました。

この遊休農地は、長期間にわたって耕作放棄地になっており、地元の方が今年に入ってから除草作業を行うとともに、苗木の準備をすすめてきました。

みかんは、3年ほどで実を付けるとのことで、参加した1年生の児童は「みかんの木が大きくなったら友達と一緒にとりにきます」と夢を膨らませていました。

鹿島鉄道模型公開中

霞ヶ浦ふれあいランド 水の科学館

霞ヶ浦ふれあいランド「水の科学館」別館に、鹿島鉄道の車両模型や旧玉造町駅通りの町並みを復元したジオラマが公開されています。

このジオラマは、2007年に廃線となった鹿島鉄道と旧玉造町の昭和の風景が再現されているほか、虹の塔や道の駅たまつくりなど、現在の風景も表現されています。

霞ヶ浦ふれあいランドにお越しいただき、鹿島鉄道の思い出に浸ってみてはいかがでしょうか。



新鮮な行方産農畜水産物を提供

なめがた大地の春まつり

4月27日（土）、「なめがた大地の春まつり」が道の駅「たまつくり」周辺で開催され、なめがたの大地からとれた新鮮な農畜水産物が安値で試食販売されました。

今回、地元産の鯉の甘煮などの試食会が開催されたほか、米豚焼肉丼や米豚・米牛レトルトカレーの試食販売、行方市漁業振興協議会副会長の海老澤武美さんによる、鯉の解体ショーが行われ、職人ならではの包丁さばきが披露されました。

新製品の開発等に補助金を交付

岡部自動車・有限会社くらぶコア・株式会社光テクノサービス

9 ページに掲載しました新製品等販売促進支援補助金制度の平成 24 年度事業として、市内で事業を展開している岡部自動車、有限会社くらぶコア、株式会社光テクノサービスの 3 事業所に補助金を交付しました。

岡部自動車

特産品販売ツール移動式販売車輛の研究開発

発売予定日：平成 26 年 4 月

有限会社くらぶコア

さつまいもソフトクリームと野菜フレッシュジュースの開発・販売

発売日：平成 24 年 8 月

株式会社光テクノサービス

SDAS III（セフティドライビング・アシストシステム）の開発・販売

発売日：平成 24 年 7 月

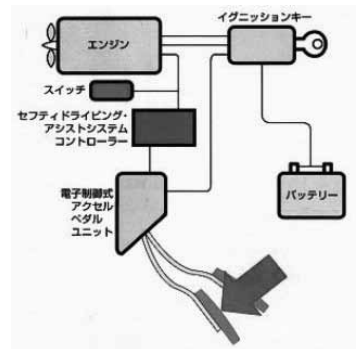
その中の一つ、SDAS III（株式会社光テクノサービス）について紹介します。

同社は、年々増えるブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故を抑制する安全装置（SDAS II）を 2010 年

より開発販売し、テレビなどメディアにも注目されています。

今回は運転中のドライバーの操作のスリム化・効率化を考慮し、押しボタンエンジンスイッチの開発とエンジン停止時のハザードランプが自動点滅するよう改良をした SDAS III の開発、特許、実用新案の申請、販売へとつながりました。これにより日刊自動車新聞用品大賞・安全補助用品部門賞を受賞。

今後の販路拡大が期待されます。



風土記のまちづくりで交流

高萩市の復興を祈って行方市特産「ショウブ」を贈呈

5 月 3 日（金）、高萩市さくら宇宙公園で開催された高萩市風土記勅撰 1300 年記念事業実行委員会主催の「常陸風土記勅撰 1300 年記念祭」において行方市が招待され、『常陸国風土記』で唯一省略されていない「行方条」の魅力をパネルやアンケートをとおして参加者にアピールしました。

式典では、伊藤市長が 5 月 5 日の端午の節句に欠かせない「ショウブ」を草間高萩市長に贈呈し、高萩市の復興と高萩市民が健康であるようにとの思いを伝えました。



行方のゆるキャラ勢揃い

茨城ゆるキャラ祭 in なめがた 2013

5 月 5 日のこどもの日、麻生公民館で「茨城ゆるキャラ祭 in なめがた 2013」が開催されました。

今回、行方市のマスコットキャラクター「なめりーミコット」や、行方市商工会の「ニコちゃんとなめぞう」、そして霞ヶ浦ふれあいランドの「みずまるくん」が初めて勢揃いし、カメラを手にした家族連れが次々と写真に収めていました。

当日は、茨城県警察本部のキャラクター「こひばりくん」と「こひばりちゃん」などが応援にかけつけました。

行方のサツマイモ焼酎完成！！

名称は「紅コガネ」に決定

なめがた食彩マーケット会議において、昨年9月より商品開発プロジェクトチーム（甘藷生産者・JAなめがた・行方市商工会）を発足させ、芋焼酎の商品開発を行ってきました。

原料のサツマイモは、JAなめがたの協力をいただき、米麴にも行方産米を使用。製造は長野県飯田市の喜久水酒造（株）で行いました。酒蔵では、水にもこだわり、中央アルプスの伏流水と同じ水系を使用して、まろやかに仕上げました。

また、メンバー自ら酒蔵を訪れ、仕込み作業を行い、焼酎製造について学びました。ラベルデザインは、文化デザイナー学院（水戸市）の作品。名称は、一般公募400通の中から一番多かった「紅コガネ」に決定しました。

一つ一つにとこだわり抜いた逸品です。

発売は6月27日（木）。お近くの酒類販売店等でお求めいただけるほか、市内飲食店でもお楽しみいただけます。



全国農業新聞優秀農業委員会表彰

行方市農業委員会

全国農業会議所主催による平成25年度情報会議が4月10日（水）、椿山荘（東京都・文京区）において開催され、全国から農業委員、関係者が出席し、全国農業新聞・全国農業図書の普及と功績のあった農業委員会関係者に表彰状が贈られました。

茨城県では、行方市を含む13団体が普及推進活動の功績を認められ、全国農業新聞優秀農業委員会として表彰されました。

おめでとうございます。

スカイツリーの下でおいもの苗植えを行いました

ソラマチファームに行方の土とサツマイモの苗

開業1周年を迎えた東京スカイツリー®の東京スカイツリータウン®ソラマチファーム「らぼっぽおいも畑」で今年もサツマイモの苗植え会が行われました。

このおいも畑は、白ハト食品工業株式会社がJAなめがたの土とサツマイモの苗を使用してスタートした屋上都市型農園です。当日はあいにくの雨模様となりましたが、公募により集まった親子連れ約150人が苗植えを楽しみました。参加者は「甘くて大きなおいもができるように願いを込めて植えました。収穫が楽しみです」と話していました。



茨城県農林水産振興協議会から感謝状が贈呈されました

行方市農作物病虫害防除対策協議会

4月12日（金）、茨城県植物防疫協会事務所において開催された「茨城県農業共済組合連合会家畜診療センター及び一般社団法人茨城県植物防疫協会事務所竣工式」の席上において、行方市農作物病虫害防除対策協議会（茂木正治会長）に対して、茨城県農林水産振興協議会から感謝状が贈呈されました。

行方市農作物病虫害防除対策協議会は、航空防除による農作物病虫害防除事業の推進を図り、農業生産の安定と向上に貢献しています。

第8回行方杯ミニバスケットボール大会結果

4月21日(日) 28日(日) 北浦運動場体育館ほか

★女子の部

【優勝】AT・STARS (高萩市)

【準優勝】北浦GrassesMBC

【第3位】玉造山王ミニバス

優秀選手 柏葉 瑠奈 (北浦GrassesMBC)

優秀選手 平野 真衣 (玉造山王ミニバス)

優秀選手 小貫 玲奈 (麻生ミニバス)

平成25年度第1回行方市ゴルフ連盟大会結果

4月23日(火) セントラルゴルフクラブ

【優勝】平山 勝巳

【準優勝】佐山 正

【第3位】堀越 吉和

ベスグロ (77) 大輪 公一



山百合の里に東屋が完成しました

霞ヶ浦で刈り取ったヨシを使用しています

「ふるさと山百合まつり」を前に、地元有志の方々が、井上山百合の里の対面に、観光客の憩いの場として東屋を設置しました。

この東屋の材料は、地元で生態系保全活動に取り組む白さぎの会の皆さんが霞ヶ浦で刈り取ったヨシを使用しました。また、柱の部分は、東日本大震災で被災した建物の張り木を材料としました。

製作に4カ月を要したという東屋について、白さぎの会の堀一美会長は、「刈り取ったヨシは、主に畑の肥料として再利用していましたが、ほかに有効利用できないか模索していました。山百合の里へお越しいただき、団らんの場として活用してほしいです」と話していました。

ゴールデンウィーク なめがたの風景

